

第140回若手懇談会アンケート集計結果

アンケートのご協力ありがとうございました。

以下に今回のアンケート結果を纏めましたので、今後の参考にさせて頂きたいと思います。

回答数 : 17枚

質問. 1 あなたの会社での担当業務は何ですか？

- ①製造 ②研究・開発 ③営業 ④その他

・集計結果

① 2名 ② 14名 ③ 0名 ④ 1名 無回答 0名

質問. 2 あなたの勤続年数は何年ですか？（学生の方は学年等をご記入下さい）

- ①（ ）年目（年数をご記入ください） ②その他（学生の方は学年等をご記入下さい）

・集計結果

1～3年目： 5名 4～6年目： 3名 7～9年目： 5名
10年以上： 4名 学生の方： 0名 無回答： 0名

質問. 3 この懇談会へ参加しようと思ったきっかけは何ですか？（複数回答可）

- ①業務と関係があるから ②上司の勧めで ③他社との交流 ④毎回参加しているから
⑤興味のある講演内容だから ⑥その他（ご記入ください）（ ）

・集計結果

① 8名 ② 4名 ③ 3名 ④ 2名 ⑤ 3名
⑥ 6名（ 役員のため ） 無回答 0名

質問. 4 この懇談会への参加回数は何回目くらいですか？

- ①初めて ②2～4回目 ③5回以上

・集計結果

① 5名 ② 7名 ③ 5名 無回答 0名

質問. 5 講演会についていかがいます。

（5-1）講演数についてどうでしたか？

- ①多い ②ちょうど良い ③少ない

・集計結果

① 0名 ② 17名 ③ 0名 無回答 0名

（5-2）講演の時間についてお聞かせ下さい。

- ①長い ②ちょうど良い ③短い

・集計結果

① 1名 ② 16名 ③ 0名 無回答 0名

（5-3）講演途中の質疑応答を取り入れていますが、いかがでしたか？

・集計結果

① 0名 ② 0名（ 理由 ）
無回答 0名

（5-4）個々の講演内容について、事前の関心の高さ、分かり易さ、レベルの高さ、新知識取得の度合い、今後の参考度合いについて、どのように感じたかお聞かせください。

・集計結果

「高・優・多・大」= 5 point、「中・普」= 3 point、「低・難・低・小」= 1 pointで計算し、pointの平均を100点換算すると下記の表の通り。

平均

事前の関心の高さ	分かり易さ	内容レベルの高さ	新知識取得の度合い	今後の参考の度合い
85	65	76	80	70

（5-5）講演会全体としての満足度はいかがでしたか？（その理由もお書き下さい）

- ①非常に満足 ②満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

・集計結果

① 5名 ② 11名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名
無回答 0名

（頂いたコメント）

今後見据えていかなければいけない方向性に関する知識を得ることができました。

最先端の研究開発動向が聴けたため

ファインセラミックスの注目技術、データサイエンスについて学ぶことができたため

質問. 6 Microsoft Teamsを使用したweb開催についてうかがいます。

(6-1) 映像についてどうでしたか？

①非常に満足 ②満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

・集計結果

① 0 名 ② 3 名 ③ 0 名 ④ 0 名 ⑤ 0 名

(6-2) 音声についてどうでしたか？

①非常に満足 ②満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

・集計結果

① 0 名 ② 1 名 ③ 2 名 ④ 0 名 ⑤ 0 名

(6-3) 質疑応答についてどうでしたか？

①非常に満足 ②満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

・集計結果

① 0 名 ② 2 名 ③ 1 名 ④ 0 名 ⑤ 0 名

(頂いたコメント)

基本的には問題なく音声、映像を聞くことができました。

ただ、時々音声が途切れることがありました。

どこでも聞くことが可能なので便利だと思います。

web開催で特に問題はありませんでした。遠方からでもご講演頂きやすくなりそうなので、

より色々な講師の方のお話を聞けると楽しみにしております。

質問. 7 今後、若手懇談会で聴いてみたいと思う講演の分野をお聞かせ下さい。

また、各分野について関連するもので具体的に聴いてみたい内容があればご記入下さい。

分 野

①基礎研究(物性・分析)

②材料設計関連

③製造技術関連(調合・原料、溶融、成形、加工)

④用途(ディスプレイ、電子デバイス、建材、医療、環境、瓶関連)

⑤分析、解析技術関連

⑥非技術分野(マーケティングなど)

⑦隣接・学際的分野(セラミックス、半導体、金属など)

⑧上記以外に聴きたい講演がある

無回答

・集計結果

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無
回答数	10	7	9	5	7	4	3	0	0

<具体的内容>

機械学習を用いた解析の方法

鈴木先生の講演を受けてMIのセラミックス材料分野への応用の難しさを痛感しました。先生のおっしゃる通りで、微構造が関係してくる特性の予測にはMIの活用はまだ難しいですね。一方中西先生のご講演を受けて、ある材料1つに絞れば、データをそろえて正しく機械学習させることで、予測可能になっていくのかもしれないという期待も生まれました。

とても参考になるご講演でした。ありがとうございました。

電子デバイス、医療関係

山本茂先生

質問. 7 若手懇談会について、ご自由にご意見をお書き下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。